

2020年度 学校評価集計

弘前学院聖愛聖愛中学高等学校

4: そう思う, 3: だいたいそう思う, 2: どちらかというと思わない, 1: そうは思わない, 0: わからない

分野	評価内容	No	4	3	2	1	0
学校運営	学年団は適切に組織され、有効に機能した。	1	2 (4%)	15 (30%)	18 (36%)	10 (20%)	5 (10%)
	部委員会分掌は適切に組織され、有効に機能した。	2	13 (26%)	26 (52%)	6 (12%)	3 (6%)	2 (4%)
	中高・各学年・部委員会分掌は必要な情報を共有し、連携して業務を遂行した。	3	9 (18%)	23 (46%)	11 (22%)	5 (10%)	2 (4%)
宗教教育	学校は本学の建学の精神を問いながら、伝統の継承と発展に努めた。	4	5 (10%)	19 (38%)	17 (34%)	8 (16%)	1 (2%)
	礼拝及び宗教行事を通して、聖書の言葉を日常生活に生かす意識が高められた。	5	9 (18%)	17 (34%)	17 (34%)	6 (12%)	1 (2%)
教科指導	目標を明確にした年間授業計画を忠実に実施した。	6	9 (18%)	15 (30%)	20 (40%)	5 (10%)	1 (2%)
	生徒の主体的・対話的で深い学びを求める授業を追求した。	7	6 (12%)	26 (52%)	10 (20%)	3 (6%)	5 (10%)
	各クラスにおいて、総合的な探究(学習)の時間は有意義に展開できた。	8	10 (20%)	27 (54%)	10 (20%)	0 (0%)	3 (6%)
教科外活動	ホームルーム活動は計画的かつ工夫して行われた。	9	8 (16%)	25 (50%)	12 (24%)	2 (4%)	3 (6%)
	生徒会活動は生徒が主体的・積極的に取り組んだ。	10	6 (12%)	18 (36%)	11 (22%)	3 (6%)	12 (24%)
	学校行事は年間を通じて適切に計画・実施された。	11	11 (22%)	23 (46%)	11 (22%)	1 (2%)	4 (8%)
進路指導	生徒が進路に関する情報に接し、進路について考え判断する機会は適切に提供された。	12	3 (6%)	25 (50%)	9 (18%)	0 (0%)	13 (26%)
	教員は保護者と共通理解を図りながら、それぞれの生徒に応じた進路指導を行った。	13	4 (8%)	16 (32%)	18 (36%)	4 (8%)	8 (16%)
生徒指導	教職員はいじめや生徒の悩みの早期発見と早期対応・情報共有を心がけた。	14	9 (18%)	33 (66%)	4 (8%)	1 (2%)	3 (6%)
教職員	自分は教育動向を踏まえた教育活動のための指導力向上に努めた。	15	10 (20%)	27 (54%)	7 (14%)	1 (2%)	5 (10%)
	教職員は適切な言葉・態度で生徒に接していた。	16	8 (16%)	26 (52%)	7 (14%)	1 (2%)	8 (16%)
	自分は勤務時間内で業務を遂行できた。	17	11 (22%)	25 (50%)	7 (14%)	4 (8%)	3 (6%)